



## JavaScript SDK

---



### 警告

@agentxJsApi、@agentx/agentx、@agentx/agentx-services-types、@agentx/agentx-js-api などの古いライブラリは使用しないでください。

agentx という語の参照は修正されています。

- @agentx/agentx および @agentx/agentx-services-types は、@wxcc-desktop/sdk-types の共通名でエクスポートされます。
- @agentx/agentx-js-api は @wxcc-desktop/sdk に名称変更されています。
- agentxJsApi は Desktop に名称変更されています

JavaScript SDK の使用の詳細については、「[はじめに](#)」を参照してください。

---

- [JavaScript SDK \(1 ページ\)](#)
- [ルート JavaScript SDK モジュール \(3 ページ\)](#)

## JavaScript SDK

Agent Desktop JavaScript SDK は、npm パッケージであり、Agent Desktop から最新の情報をリクエストできます。この SDK を使用すると、エージェントの詳細、割り当てられたタスク、特定のタスクの詳細、現在のブラウザロール、シングルサインオン (SSO) 統合用の認証トークンなどの情報をリクエストできます。

SDK パッケージを使用すると、次の操作を実行できます。

- プロパティと属性を通じてウィジェットにデータを渡すようリクエストする。
- ウィジェット内部のシステムデータを使用、操作することで、より複雑な操作を実行する。
- 非同期で受信するデータをサブスクライブする。

AgentDesktopのイベントには、非同期で発生するものがあります。非同期イベントをサブスクライブし、ペイロード内のデータにアクセスするために、リスナーを追加できます。非同期イベントの例は次のとおりです。

- 新しいタスクが提示された
- 新しいタスクが割り当てられた
- 打診リクエストが作成された
- 打診が終了した
- スクリーンポップが表示された

非同期イベントの完全なリストについては、「[非同期イベント](#)」を参照してください。

## はじめに

JavaScript SDK の使用を開始するには、次のいずれかのオプションを選択できます。

- プロジェクトフォルダで次のコマンドを実行します。

```
npm install @wxcc-desktop/sdk --save
```

または

```
yarn add @wxcc-desktop/sdk
```

- 次のコマンドを実行して、package.json ファイルにパッケージを追加します。

```
"dependencies": {
  "@wxcc-desktop/sdk": "^1.2.2"
},
```

- Momentum-ui Web コンポーネントライブラリも使用する場合は、次の項目を追加する必要があります。

```
"peerDependencies": {
  "@momentum-ui/core": "19.9.2",
  "@momentum-ui/icons": "7.45.0",
  "@momentum-ui/utils": "6.2.7",
  "@momentum-ui/web-components": "^2.0.13",
  "lit-element": "^2.3.1",
  "lit-html": "^1.2.1"
},
```

さらに、JavaScript SDK リクエストで返される Promise の型定義にアクセスするためには、次のパッケージをインストールします。

```
"devDependencies": {
  "@wxcc-desktop/sdk-types": "^1.0.2",
  ...
},
```



**重要** Momentum と lit-element の依存関係が `peerDependencies` に追加されます。これらの依存関係は Agent Desktop に存在しているため、2 回インポートしないでください。ウィジェットと Agent Desktop で同じバージョンを維持する方法はありません。

プロジェクトにパッケージをインストールしたら、ES6 インポートパターンに続けて適切なコンポーネントファイルにパッケージを含める必要があります。

```
import {Desktop} from "@wxc-cc-desktop/sdk";
```

## ルート JavaScript SDK モジュール

Desktop は、JavaScript SDK のルートモジュールです。このルートモジュールは、以下のサブモジュールへの参照を提供します。

- [構成モジュール](#)
- [ローカリゼーションモジュール](#)
- [アクションモジュール](#)
- [ロガーモジュール](#)
- [エージェント状態情報モジュール](#)
- [エージェントコンタクトモジュール](#)
- [ダイヤラモジュール](#)
- [スクリーンポップモジュール](#)
- [ショートカットキーモジュール](#)

### 例

```
import {
  Desktop
} from "@wxc-cc-desktop/sdk";

const {
  config,
  i18n,
  actions,
  agentContact,
  agentStateInfo,
  dialer,
  logger,
  screenpop,
  shortcutKey,
} = Desktop;
```

